

夫婦都市提携 50周年記念式典



「神様が土を削り、その土を運んでつくりあげたのが富士山、掘った穴に水が満たされて琵琶湖になった」というダイダラボッチの伝説をもとに、日本一高い「富士山」と日本一大きな「琵琶湖」を持つ両市が、近江八幡市民有志の「富士山と琵琶湖を結ぶ祭典」を通じて知り合い、互いに交流を続けてきました。その後、「都市縁組み」の話が具体化し、富士宮市が結納の印として桜の木を贈り、近江八幡市からは結納返しとして、琵琶湖のヒゴイ、マゴイなどが贈られ、昭和43年8月には、結婚式に当たる夫婦都市提携調印式を行いました。そんな結婚式から今年でちょうど50年。めでたく金婚式を迎えました。

近江八幡市 × 富士宮市

日 時：2018.11.09 (金) AM10:00 開会
場 所：近江八幡市文化会館

記念式典 次第

1. オープニング
お琴の演奏（邦楽会）
2. 式 辞
近江八幡市長 小 西 理
富士宮市長 須 藤 秀 忠
3. あいさつ
近江八幡市議会議長 園 田 新 一
富士宮市議会議長 手 島 皓 二
4. 来賓祝辞
5. 両市市歌斉唱
6. 記念品披露
7. 記念ビデオ上映
8. 「輝くまち共同宣言」唱和
9. エンディング
富士山（1番・2番）
琵琶湖周航の歌（1番・6番）

富士山

1. あたまを雲の上に出し
四方の山を見おろして
かみなりさまを下に開く
富士は日本一の山
2. 青空高くそびえたち
からだに雪の着物着て
かすみのすそを遠くひく
富士は日本一の山



琵琶湖周航の歌

1. われは湖の子 さすらいの
旅にしあれば しみじみと
昇る狭霧や さざなみの
志賀の都よ いざさらば
6. 西国十番 長命寺
汚れの現世 遠く去りて
黄金の波に いざ漕がん
語れ我が友 熱き心



夫婦都市提携50周年 輝くまち共同宣言

日本一大きい湖“琵琶湖”のあるまち 近江八幡市
日本一高い山“富士山”のあるまち 富士宮市

両市は、昭和43年8月に夫婦都市提携を締結し、以来、教育、経済、観光、スポーツ、文化など、多彩な市民交流で絆を深めてきました。

本日、夫婦都市提携50周年の金婚式を迎え、さらにこの絆を深め、両市が輝き続けるまちとなることを共同で宣言します。

近江八幡市と富士宮市は、それぞれが持つかけがえのない地域資源を生かすとともに、その歴史、文化を後世に伝えていきます。そして、両市の交流により、新たな地域の魅力の創造につなげ、互いの市民の喜びに結びつけていきます。

昭和32年(1957) 「富士と琵琶湖を結ぶ会」結成

昭和37年(1962) 両市議員親善野球開始

昭和38年(1963) 近江八幡市助役、富士宮市議会議員による両市相互親善訪問

昭和43年(1968) 夫婦都市提携

8月3日 富士宮市にて調印式

8月8日 近江八幡市にて調印式

昭和44年(1969) 1月 近江八幡市民駅伝競走大会に富士宮市選手団初出場

2月 富士宮白糸駅伝に近江八幡市選手団初出場

7月 児童生徒交歓会始まる

平成3年(1991) 富士宮市民団体「富士と琵琶湖を結ぶ会」初の来幡

平成8年(1996) 4月23日 両市の災害相互応援協定の調印式

平成30年(2018) 夫婦都市提携50周年記念式典両市で開催



富士と琵琶湖を結ぶ会「お水取り」



夫婦都市調印式



駅伝競走大会に富士宮市選手団来幡



児童生徒交歓会



富士宮市の「結ぶ会」初来幡



災害相互応援協定を調印



近江八幡市

Omihachiman

滋賀県のほぼ中央、琵琶湖の東側に位置し、世界的にも珍しい淡水湖に浮かぶ有人島で琵琶湖最大の島である沖島を有する、人口約8万2千人のまちです。

豊臣秀吉の甥の秀次により拓かれた城下町で、商人のまちとして発展してきました。町並みは今でも、当時の面影が色濃く残っており、「安土城跡」「ヴォーリズ建築」「八幡堀」等の歴史的遺産が点在し、風情が薫る景観が広がっております。

平成22年3月に安土町と合併し、現在の近江八幡市となりました。

わがまち近江八幡

作詞：南 英市 作曲：池田 八声

1. 西の湖巡る 水郷の
風情奏でる 鳩の声
自然の絵巻 とくように
四季の明るい 風わたる
あ、わが 近江八幡は
夢をたがいに 紡ぐまち
2. 安土の山に 信長の
深いゆかりの 城の跡
はえある歴史 とこしえに
自治と文化の 花ひらく
あ、わが 近江八幡は
日ごと楽しく 励むまち
3. 相呼び交す 沖島の
港行き来の 船の影
三方よしの あきないに
野にも豊かな 幸めぐむ
あ、わが 近江八幡は
ゆくて新たに 拓くまち



富士宮市

Fujinomiya

世界遺産に登録された富士山の南西麓に位置し、豊かな湧水と緑に恵まれた風光明媚な自然環境を誇る人口約13万3千人のまちです。

表富士登山口として、また、全国に1300余社ある浅間神社の総本宮である富士山本宮浅間大社の門前町として栄えてきました。

日本一の山であり、世界の宝となった富士山の優れた景観や自然環境を保全するとともに、富士山の魅力を十分生かし、安全・安心で健康なまちづくりと産業の振興に取り組む、日本一元気な自立したまちを目指しています。

富士宮市歌

選定：富士宮市 作曲：小山 章三

1. 朝日に富士の 雪映えて
明るい希望の 陽がのぼる
ああ さわやかな 富士宮
ここに生まれて ここに住む
われらこぞりて このまちに
夢を咲かそう うつくしく
2. 雪げの水の わくところ
浅間の宮の 千木たかく
ああ ひかりさす 富士宮
ここに働き ここに住む
われらひとしく このまちに
幸を築こう ゆるぎなく
3. 香る歴史と 人の和に
文化の花も ふくいくと
ああ さかえゆく 富士宮
ここにくらしで ここに住む
われら明るく このまちに
理想めざそう たゆみなく

【琵琶と富士の夫婦物語】

文化会館 大ホールにて口演 座敷音頭 櫻美家 天勝

皆様頼みます 扱は此の場の皆様へ

近江の国は琵琶の湖 駿河の国は富士の山 共に一夜に出来たとは

誰が言ったか 語り継がれた昔話 大多良法師だいたらぼつちに伝え聴く

湖・山 何れも日本一!

頃は昭和の三十と二年酉うしの歳 文月二十七日には

二十と八名の奉祈連ほうきれん 永遠の平和に願ひ込め

琵琶の霊水携えて 富士のお山は剣が峰 捧げて献水奉る ししん

金明水・銀明水 山頂さんげん浅間奥宮様でいただいて

琵琶の湖うみは 水ヶ浜へお水返し

世界平和、国土安全、渾身の願ひで受け継がれ

市神いちがみさまに 守られて 浅間さまの ご加護受け

昭和四十と三年に 近江八幡・富士宮 睦み合い

鯉と桜で結納を 夫婦の契りが結ばれる

数えきれない 交流・交歓・親睦で

両市の信頼 育まれ 皆が羨む仲の良さ

霊峰富士が勇ましく 母なる琵琶湖が優しく 八合目・九合目・

胸突き八丁飛び越えて 頂上極めて みんな仲良し 十合目

これが本当の 一升榊 琵琶と富士めおとの夫婦物語

扱て 本日の記念式 半世紀を記念して.....

丁度 受け持ち時間なら お後 司会に繋ぎましょう